

■レディスプレリュード (JpnII) アラカルト (過去 15 回の分析)

※第 1 回 (平成 16 年) から第 7 回 (平成 22 年) までは「TCK ディスタフ」の名称で実施

※第 13 回 (平成 28 年) は 2 頭が 2 着同着

※記録は令和元年 9 月 18 日時点

■ 1~2 番人気馬は堅実だが 3 番人気馬は不振

単勝 1 番人気馬は 7 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で、3 着内率が 73.3%、単勝 2 番人気馬は 6 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で、3 着内率が 66.7%、単勝 3 番人気馬は 0 勝、2 着 2 回、3 着 1 回で、3 着内率が 20.0%となっている。単勝 1~2 番人気馬に比べ、単勝 3 番人気馬は好走率が低い。

■ 約半数の 7 回は 1~2 番人気馬のワンツーフイニッシュ

過去 15 回のうち 13 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 7 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 1 回ある。

■ パフィオペディラムとミラクルレジェンドが“連覇”を達成

レディスプレリュードにおいて複数回の優勝経験があるのは、第 4 回 (平成 19 年) と第 5 回 (平成 20 年) を制したパフィオペディラム、第 8 回 (平成 23 年) と第 9 回 (平成 24 年) を制したミラクルレジェンドと、2 頭いる。なお、いずれも 2 回連続の優勝だ。

■ 優勝馬の 7 割以上は 4~5 歳馬

馬齢別の勝利数を見ると、3 歳が 2 勝、4 歳が 4 勝、5 歳が 7 勝、6 歳が 1 勝、7 歳が 1 勝となっている。全体の 73.3%は 4~5 歳の世代だ。

■外国産馬は1勝

外国産馬の優勝例は、第7回（平成22年）のザッハーメインによる1回だけである。

■指定交流競走となってからは3着内馬の8割以上がJRA勢

指定交流競走となった第8回（平成23年）以降の計8回に限ると、地方所属馬は0勝、2着2回、3着2回、JRA所属馬は8勝、2着7回、3着5回となっている。3着以内馬延べ24頭のうち、83.3%がJRA所属馬だ。

■騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、岩田康誠騎手が3勝で単独トップ、左海誠二騎手が2勝で単独2位となっている。

■調教師別の歴代最多勝記録は「2」

調教師別の勝利数を見ると、岡林光浩調教師、角居勝彦調教師、藤原英昭調教師、山浦武調教師が2勝でトップタイとなっている。

■優勝例のない枠番は4枠だけ

枠番別の勝利数を見ると、3枠（4勝）が単独トップ。6枠と7枠（各3勝）が2位タイ、8枠（2勝）が単独4位となっている。なお、未勝利の枠番は4枠だけだ。また、馬番別の勝利数を見ると、5番（3勝）が単独トップ、12番と15番（各2勝）が2位タイである。ちなみに、未勝利の馬番は2番、10番、11番、14番、16番だ。

<伊吹雅也>